



平成 28 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 大 阪 瓦 斯 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 本 荘 武 宏
 (コード: 9532 東・名証第1部)
 問 合 せ 先 広 報 部 長 桑 原 千 香
 (TEL. 06-6205-4515)

2016 年度 大阪ガスグループ経営計画

1. 2016 年度の重点課題

国内外の経済情勢や油価・為替の変動、電力・ガスの全面自由化等、先行き不透明で振れ幅の大きい事業環境が続きますが、当社グループは将来に亘って持続的で力強い成長を実現するための取り組みを進めてまいります。具体的には、2017 年度のガス全面自由化に向けた準備を行うとともに、電力小売事業の早期拡大を目指します。また、都市ガス・LPG・電力などのエネルギー供給に加え、様々な付加サービスを組み合わせて、お客さまへ質の高い提案を進めてまいります。あわせて、製造・供給基盤の強化、新規電源の開発を推進し、海外エネルギー事業・ライフ&ビジネス ソリューション事業の拡大にも積極的に取り組んでまいります。

2. 収支計画

2016 年度の連結売上高は 1 兆 1,705 億円、営業利益は 855 億円、経常利益は 780 億円、当期純利益は 520 億円を計画しています。

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2015 年度 見込み (億円)	2016 年度 計画 (億円)	増減率 (%)	2015 年度 見込み (億円)	2016 年度 計画 (億円)	増減率 (%)
売上高	13,390	11,705	▲12.6	10,450	8,870	▲15.1
営業利益	1,455	855	▲41.2	1,080	475	▲56.0
経常利益	1,350	780	▲42.2	1,130	575	▲49.1
当期純利益	925	520	▲43.8	815	450	▲44.8
SVA	598	234	---	582	241	---
ROA	5.0%	2.8%	---	5.8%	3.1%	---
ROE	10.1%	5.4%	---	12.2%	6.3%	---

※ 2016 年度の前提：

原油価格 (全日本C I F 価格) 2016 年 4 月-9 月 40 ドル/バレル
 2016 年 10 月-2017 年 3 月 45 ドル/バレル

為替レート 120 円/ドル

[2015 年度の見込み：原油価格 (全日本C I F 価格) 51 ドル/バレル
 為替レート 121 円/ドル]

3. ガス販売量・販売電力量計画

2016年度は、大阪ガス個別のガス販売量で8,447百万m³（2015年度(見込み)比5.0%増)、販売電力量で7,553百万kWh（2015年度(見込み)比13.0%減）を計画しています。

【ガス販売量（大阪ガス個別）】 45MJ/m³換算

家庭用	2,127百万m ³	(+0.9%)
商・公・医用	1,464百万m ³	(+3.1%)
工業用	4,373百万m ³	(+7.9%)
他ガス事業者向け	483百万m ³	(+3.7%)
ガス販売量合計	8,447百万m ³	(+5.0%)
お客さま数（年度末）	7,298千件	(+0.7%)

(連結) ガス販売量	8,480百万m ³	(+4.9%)
------------	-----------------------	---------

【販売電力量】

合計	7,553百万kWh	(▲13.0%)
----	------------	----------

() 内は2015年度見込みからの増減率

4. 投資計画

2016年度は、連結で2,015億円の投資を計画しています。

		投資額
既存事業 品質向上投資		515億円
エネルギー事業	国内	325億円
	海外	755億円
ライフ&ビジネス ソリューション事業		420億円
新規事業 拡大投資		1,500億円
投資額合計		2,015億円

5. 2016～2020 年度 供給計画（ガス事業）

（1）ガス需要見通し

2016 年度以降は、家庭用におけるエネファームの拡販や、業務用における天然ガスコージェネレーションなど分散型エネルギーシステムの普及および燃料転換による需要開発などを見込み、2020 年度のガス販売量は 8,470 百万 m³となる計画です。この間の 5 年間の年平均伸び率は 1.0%です。

（単位：百万 m³、m³/月、%）

	2015 年度 (27 年度) (実績見込)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)	2019 年度 (31 年度)	2020 年度 (32 年度)	15～20 年度 年平均 伸び率
家庭用	-3.6 2,108	+0.9 2,127	-2.7 2,069	-1.2 2,045	-1.0 2,024	-2.0 1,984	-1.2
業務用計	-2.2 5,474	+6.6 5,837	-1.0 5,779	+1.0 5,837	+1.1 5,902	+0.8 5,951	+1.7
商用	-2.1 839	+2.7 862	-0.4 859	+0.1 860	+0.8 867	+0.1 867	+0.7
工業用	-1.9 4,053	+7.9 4,373	-1.2 4,320	+1.3 4,375	+1.2 4,426	+1.1 4,473	+2.0
公用・医療用	-4.4 581	+3.6 603	-0.3 601	+0.3 602	+1.2 610	+0.1 611	+1.0
小計	-2.6 7,583	+5.0 7,964	-1.5 7,848	+0.4 7,882	+0.6 7,927	+0.1 7,935	+0.9
他ガス事業者 への供給	-1.7 466	+3.7 483	-0.2 482	+10.4 532	+0.9 537	-0.5 534	+2.8
合計	-2.5 8,049	+5.0 8,447	-1.4 8,330	+1.0 8,414	+0.6 8,464	+0.1 8,470	+1.0
参考値*1 (合計の補正)	-2.8 8,090	+5.0 8,495	-0.1 8,484	+1.0 8,568	+0.6 8,618	+0.1 8,624	+1.3
家庭用 1 戸 当たり販売量	-4.1 29.7	+0.1 29.7	-2.7 28.9	-0.9 28.7	-1.0 28.4	-1.8 27.9	-1.2

※1 発電子会社の I P P 事業電源を自社電源化した際に、ガス販売から自社利用へ変更となることで減少するガス販売量を足し戻した値。

（注）各欄の左肩は対前年伸び率（%）。販売量は 45MJ/m³で表示しており、届出値（46MJ/m³）と異なります。各区分で四捨五入しています。

なお、当社の供給区域内における新設工事件数は、以下のように年間約 9 万件から 11 万件の水準で推移すると見込んでおります。

年度末のお客さま数（取付メーター数）は、2020 年度には約 748 万件となる見込みです。

（単位：千件）

	2015 年度 (27 年度) (実績見込)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	2018 年度 (30 年度)	2019 年度 (31 年度)	2020 年度 (32 年度)	15～20 年度 年平均 伸び率
新設工事件数	+2.5 108	+0.4 109	-2.2 106	-9.5 96	-1.7 95	-3.6 91	-3.4
お客さま数 (年度末)	+0.7 7,248	+0.7 7,298	+0.7 7,347	+0.6 7,391	+0.6 7,435	+0.6 7,477	+0.6

（注）左肩は対前年伸び率（%）

(2) 原料消費計画

需要の増加により、2020年度には、LNGの消費量は700万t、LPGの消費量は23万tとなる計画です。安定的な供給を確保するため、今後もLNGおよびLPGの確実な調達に努めます。

(単位：千t)

	2015年度 (27年度) (実績見込)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	2019年度 (31年度)	2020年度 (32年度)
LNG消費量	6,756	7,033	6,942	6,948	7,007	6,997
LPG消費量	114	149	165	194	230	234

(3) 設備投資計画

将来の需要増に対応した導管網の整備、保安・安定供給のための供給設備の増強・入替、地震・津波等の災害を想定した製造・供給設備での対策工事などへの投資を中心に、2016年度から2020年度の累計設備投資額は、2,261億円となる計画です。

*金額は各区分で切捨て表示 (単位：億円)

	2015年度 (平成27年度) (実績見込)	2016年度 (28年度)	2017年度 (29年度)	2018年度 (30年度)	2019年度 (31年度)	2020年度 (32年度)	16~20年度 合計
製造設備	136	70	52	57	45	62	288
供給設備	351	356	362	357	351	349	1,777
業務設備	42	86	31	20	22	19	181
附帯事業設備	11	2	3	5	2	1	14
合計	540	515	450	440	421	433	2,261

【主要製造設備計画】

設備名	容量	設置場所	設置年度
LNG気化器	150t/h ×2基	姫路製造所	2016年度(予定) 2019年度(予定)
	150t/h	泉北製造所第一工場	2020年度(予定)

【主要導管計画】

路線名	総延長	区間	開通年度
第2東部ライン	約 6km	大阪府泉大津市～大阪狭山市	2019年度(予定)
姫路東西連絡管	約 4km	兵庫県姫路市	2020年度(予定)
尼崎・西神ライン	約 50km	兵庫県尼崎市～神戸市	2026年度(予定)

以上